

平塚市子育て支援に関するアンケート調査票（案）

調査概要

○調査目的

子育て支援に関するサービスの現在の利用状況や今後の利用希望を把握し、令和7年度から令和11年度までの5年を1期とする「第3期平塚市子ども・子育て支援事業計画」を策定するための基礎資料を得ること。

○調査対象

市内在住の未就学児（0歳児から5歳児）までの子どもの保護者
2,500人（無作為抽出）

○調査期間

令和6年1月頃を予定
（今回は、平成31年1月10日～平成31年2月1日にかけて実施）

○調査方法

郵送により対象者に送付し郵送にて回収。
質問項目が多いことから電子申請の活用は困難だが、AI-OCRを活用し集計の効率化を図る。

○アンケート調査票案について

- ・ 前回調査票を基に、文言を精査。
- ・ 主に教育・保育または地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出に必要な項目で構成

平塚市子育て支援に関するアンケート調査票

問1 お住まいの地区に当てはまる番号を選んでください。
お住まいの場所がどの地区となるかは、別紙の「住所・地区対照表」をご覧ください。

- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 浜岳 | 2. 太洋 | 3. 春日野 | 4. 江陽 |
| 5. 大野西部 | 6. 大野東部 | 7. 豊田 | 8. 神田 |
| 9. 城島 | 10. 岡崎 | 11. 金田 | 12. 金目 |
| 13. 土沢 | 14. 旭 | | |

別紙「住所・地区対照表」は
現在作成中です

問2 宛名のお子さんの生年月日に当てはまる番号を選んでください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 平成29年（2017年）4月2日～平成30年（2018年）4月1日 |
| 2. 平成30年（2018年）4月2日～平成31年（2019年）4月1日 |
| 3. 平成31年（2019年）4月2日～令和2年（2020年）4月1日 |
| 4. 令和2年（2020年）4月2日～令和3年（2021年）4月1日 |
| 5. 令和3年（2021年）4月2日～令和4年（2022年）4月1日 |
| 6. 令和4年（2022年）4月2日～令和5年（2023年）4月1日 |
| 7. 令和5年（2023年）4月2日以降 |

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号を1つを選んでください。

- | |
|-----------|
| 1. 母親 |
| 2. 父親 |
| 3. その他（ ） |

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号を選んでください。

- | |
|------------|
| 1. 配偶者がいる |
| 2. 配偶者はいない |

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号を1つを選んでください。

- | |
|------------|
| 1. 父母ともに |
| 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父や祖母 |
| 5. その他（ ） |

○宛名のお子さんの定期的な教育・保育事業の利用についてうかがいます。

※「定期的な利用」とは月単位で定期的に利用していることです。

問8 (1) 宛名のお子さんは、現在、平日に定期的に教育・保育事業を利用していますか。
 当てはまる番号を選んでください。「教育・保育事業」とは問8 (2) で示している事業
 です。

1. 利用している ⇒ (2)、(3)へお進みください。
 2. 利用していない → (4)へお進みください。

問8 (1) で「1. 利用している」を選んだ方が(2)及び(3)お答えください。

(2) 宛名のお子さんは、平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。
 年間を通じて定期的に利用している事業について、すべての記号にチェックをしてください。

- ア. 幼稚園（幼稚園で、通常の教育時間の利用）
 イ. 幼稚園の預かり保育（幼稚園で、通常の教育時間の開始前や終業後の夕方まで預かる事業のうち定期的な利用のみ）
 ウ. 認可保育所（国が定める基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けた定員20人以上の施設）
 エ. 認定こども園（幼稚園と保育機能施設を併せ持つ施設）
 オ. 家庭的保育（5人以下の子どもを保育者の居宅等で保育）
 カ. 小規模保育事業施設（国が定める基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員6人～19人の施設）
 キ. 事業所内保育施設（企業や病院等に設置され、事業所の従業員の子どもを保育する施設）
 ク. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
 ケ. 企業主導型保育施設（企業が設置し、従業員の子どもや地域の子どもを保育する施設）
 コ. その他の認可外の保育施設（上記以外の保育施設）
 サ. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのように、保育者が子どもの居宅で保育）
 シ. ファミリー・サポート・センター（地域住民（支援会員）による子どもの預かり）
 ス. その他（ ）

(3) (2) で選んだ事業を現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれ記入してください。複数の事業を選んだ方は、その合計としてください。利用・希望時間帯は主に利用している教育・保育事業の時間帯を、「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制で記入してください。

現在	希望
1週当たり（ ）日	1週当たり（ ）日
1日当たり（ ）時間	1日当たり（ ）時間
利用時間帯（ ）時～（ ）時	希望時間帯（ ）時～（ ）時

問8 (1) で「2. 利用していない」を選んだ方が(4)をお答えください。

(4) 今後、事業の利用希望はありますか。当てはまる記号をチェックしてください。
事業の利用が決まっている場合は、アを選択してください。

- ア. () *歳くらいになったら利用したい ⇒ 問10へお進みください
*年齢をご記入ください。
- イ. 利用希望はない ⇒ 問12へお進みください。
- ウ. その他 (例: 利用したいが、子どもに障がいがあるため利用できる事業がない)

問9 (1) 問8 (2) で「ア. 幼稚園」及び「エ. 認定こども園」を選択した教育利用(1号)の方がお答えください。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期休業期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

1. 利用希望はない ⇒ 問10へお進みください
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい ⇒ (2)、(3)へお進みください
3. 休みの期間中、週に数日利用したい ⇒ (2)へお進みください

(2) (1) で「2」または、「3」を選択した方は希望する時間帯を記入してください。

希望時間帯

() 時~() 時

時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください

(3) (1) で「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」を選んだ方がお答えください。
利用したい理由に当てはまる記号をすべて選んでください。

- ア. 仕事があるため
- イ. 買い物等の用事を行うため
- ウ. 親族の介護や手伝いが必要なため
- エ. 休息のため
- オ. 子どもの生活のリズムを維持するため
- カ. その他 ()

削除

問 10 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんが、平日に定期的に教育・保育事業を利用したいと考える事業をお答えください。当てはまるすべての記号にチェックをしてください。

- ア. 幼稚園（幼稚園で、通常の教育時間の利用）
- イ. 幼稚園の預かり保育（幼稚園で、通常の教育時間の開始前や終業後の夕方まで預かる事業のうち定期的な利用のみ）
- ウ. 認可保育所（国が定める基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けた定員20人以上の施設）
- エ. 認定こども園（幼稚園と保育機能施設を併せ持つ施設）
- オ. 家庭的保育（5人以下の子どもを保育者の居宅等で保育）
- カ. 小規模保育事業施設（国が定める基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員6人～19人の施設）
- キ. 事業所内保育施設（企業や病院等に設置され、事業所の従業員の子どもを保育する施設）
- ク. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
- ケ. 企業主導型保育施設（企業が設置し、従業員の子どもや地域の子どもを保育する施設）
- コ. その他の認可外の保育施設（上記以外の保育施設）
- サ. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのように、保育者が子どもの居宅で保育）
- シ. ファミリー・サポート・センター（地域住民（支援会員）による子どもの預かり）
- ス. その他（ ）

問 11 問 10 で「ア. 幼稚園」または「イ. 幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ「ウ. 認可保育所」～「ス. その他」のいずれかを選んだ方がお答えください。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる方にチェックをしてください。

はい いいえ

問 12 (1) 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号を1つ選んでください。「教育・保育事業」とは、問 10 で示した事業で、親族や友人・知人による預かりは含みません。

【土曜日】【日曜日・祝日】

- 1. 利用希望はない ⇒ 問13へお進みください
- 2. ほぼ毎週利用したい ⇒ (2)、(3)へお進みください
- 3. 月に1～2回は利用したい ⇒ (2)へお進みください

(2) (1) で「2」または、「3」を選択した方は希望する時間帯を記入してください。

希望時間帯 () 時～() 時
時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。

(3) (1) で「2. ほぼ毎週利用したい」を選んだ方がお答えください。利用したい理由に当てはまる記号をすべて選んでください。

- ア. 仕事があるため
- イ. 仕事の休日が不規則なため
- ウ. 平日にできない用事をまとめて行うため
- エ. 親族の介護や手伝いが必要なため
- オ. 休息のため
- カ. その他（ ）

削除

○宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 15 (1) 昨年 1 年間 (1 歳未満のお子さんは、生まれた時から年末まで) に、宛名のお子さんが日中の定期的な教育・保育事業の利用や病気による利用以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で不定期に利用した事業はありましたか。当てはまる記号にチェックをし、利用した事業ごとに年間利用日数を記入してください。

利用した事業	年間利用日数
ア. 一時預かり (私用等理由を問わずに、保育所等で子どもを一時的に保育する事業で、不定期に利用する場合のみ)	() 日
イ. 幼稚園の預かり保育 (通常の教育時間以外に子どもを預かる事業で不定期に利用する場合のみ)	() 日
ウ. ファミリー・サポート・センター (地域住民 (支援会員) による子どもの預かり)	() 日
エ. 夜間養護等事業: トワイライトステイ (児童養護施設等で、夜間・休日子どもを保護する事業)	() 日
オ. 居宅訪問型保育 (ベビーシッター)	() 日
カ. その他 ()	() 日
キ. 利用しなかった	なし

(2) (1) で「キ. 利用しなかった」をチェックした方は、利用しなかった理由として当てはまる記号をすべてチェックしてください。

ア. 特に利用する必要がない イ. 事業の利用方法 (手続き、利用料等) がわからない ウ. 利用料の負担がある、高い エ. 事業の対象者になるのか (自分が利用できるのか) どうかわからない オ. 事業の利便性 (立地や利用可能時間・日数等) がよくない カ. 利用したい事業が地域にない キ. その他 ()
--

問 16 (1) 私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宛名のお子さんが年間何日くらい問 15 に示した事業を利用したいですか。当てはまる記号にチェックをし、利用目的の内訳ごとにその年間利用希望日数を記入してください。

利用目的	年間利用希望日数
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、休息）	（ ）日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）日
ウ. 不定期の就労	（ ）日
エ. その他（ ）	（ ）日
オ. 利用したいと思わない →問 17 へお進みください	なし

(2) 利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる記号をすべてチェックしてください。

ア. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
イ. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業施設等）
ウ. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等）
エ. その他（ ）

問 17 (1) 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望の有無について当てはまる記号にチェックをし、必要泊数を記入してください。

対応	年間宿泊数
ア. 冠婚葬祭	（ ）泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	（ ）泊
ウ. 保護者や家族の病気	（ ）泊
エ. その他（ ）	（ ）泊
オ. 利用する必要はない	なし

○宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、本市では「子育て支援センター」、「つどいの広場」の名称を使用）を利用していますか。当てはまる番号をすべてチェックしてください。また、おおよその利用回数を記入してください。

1. 子育て支援センター、つどいの広場 (もこもこ、きりんのおうち、どれみ、ぽけっと、ここにくらす) 1か月当たり()回程度
2. 市で実施している類似の事業(事業名:) 1か月当たり()回程度
3. 利用していない

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業を今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号を1つチェックして、おおよその利用回数(利用時間は問いません)をかっこ内に記入してください。

1. 利用していないが、今後利用したい 1か月当たり()回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 1か月当たり 更に()回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたりしたいとは思わない

問 20 次の事業等で利用している、していないにかかわらず、次の事業を知っていますか。「はい」、「いいえ」のどちらか当てはまる方にチェックをしてください。

事業所・施設名等	選択肢	
1. 保健センターの育児相談・育児教室	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2. 子育て世代包括支援センター (ひらつかネウボラールームはぐくみ) [保健センター内]	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
3. 地域の子育て広場・子育てサークル・子育てサロン等	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
4. 子どもの家 おやこ広場	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5. 子育てガイド「くすくす」 (子育て支援情報冊子)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
6. 市役所のこども総合相談窓口	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
7. こども発達支援室 くれよん	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
8. 子ども教育相談センター	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民(支援会員)による子どもの預かり)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

問 21 (1) ファミリー・サポート・センター事業の今後の利用について、どのような支援を希望しますか。当てはまる記号すべてにチェックをしてください。

ア. 幼稚園・保育所等の送迎のみ
イ. 幼稚園・保育所等の送迎と預かり
ウ. 小学校・放課後児童クラブ（学童保育）の送迎のみ
エ. 小学校・放課後児童クラブ（学童保育）の送迎と預かり
オ. 子どもの習い事の援助（送迎や預かり）
カ. 保護者等の病気や急な用事の際の預かり
キ. おおむね産後1か月以内の家事援助
ク. その他（ ）
ケ. 今後利用する必要はない

(2) (1) で「ウ」または、「エ」を選択した方は、どの学年まで利用したいですか。該当する学年にチェックをしてください。

1. 低学年（1～3年生）	2. 高学年（4～6年生）
---------------	---------------

問 22 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）及び高学年（4～6年生）において、平日の小学校終了後（放課後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ1週当たりの利用希望日数を記入してください。「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方は、利用希望の時間帯も記入してください。時間は「午後6時」を「18時」のように必ず24時間制で記入してください。

場所	低学年 (1～3年生)	高学年 (4～6年生)
1. 自宅	週 () 日	週 () 日
2. 祖父母等の親族宅や友人・知人宅	週 () 日	週 () 日
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週 () 日	週 () 日
4. 子どもの家（※1）	週 () 日	週 () 日
5. 放課後子ども教室（※2）	週 () 日	週 () 日
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 (保護者が就労等により昼間家庭にいない場合等に、指導員のもと、子どもの生活の場を提供する。)	週 () 日 下校時から () 時まで	週 () 日 下校時から () 時まで
7. ファミリー・サポート・センター事業における地域住民（支援会員）の自宅等	週 () 日	週 () 日
8. その他（公民館、公園等）	週 () 日	週 () 日

※1 「子どもの家」…中学生までのお子さんが自由に遊べる場所です。外庭に遊具があるほか、屋内にもアスレチック施設があり、雨の日も遊べます。就学前のお子さんには、大人の方が付き添って利用いただく場所です。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。（八幡小学校、港小学校で実施）

問 23 (1) 問 22 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方がお答えください。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

土曜日	日曜日・祝日
1. 利用希望はない ⇒ 問24へお進みください 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい ⇒ 2. 3. を選択した方は（2）へお進みください	1. 利用希望はない ⇒ 問24へお進みください 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい ⇒ 2. 3. を選択した方は（2）へお進みください

(2) (1) で「2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または、「3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい」を選択した方は、希望時間をそれぞれ記載してください。

土曜日	日曜日・祝日
希望時間帯 （ ）時～（ ）時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。	希望時間帯 （ ）時～（ ）時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。

問 24 (1) すべての方がお答えください。

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期休業期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

1. 利用希望はない ⇒ 問25へお進みください 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい ⇒ （2）へお進みください 3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい ⇒ （2）へお進みください
--

(2) (1) で「2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または、「3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい」を選択した方は希望時間を記載してください。

希望時間帯 （ ）時～（ ）時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制で記入してください。
--

○宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。母子家庭・父子家庭の場合は、母親または父親のみを記入してください。

問 25（1） 当てはまる就労状況の番号をそれぞれ 1 つ選択してください。

【母親】【父親】それぞれについて回答をお願いします。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	}	(2) をお答え ください。
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	}	(2) 及び (3) をお答えく ださい。
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない（「以前は就労」とは、出産前、出産後にか かわらず、就労経験があったことを指します。）	}	(4) をお答えください。
6. これまで就労したことがない		

(2) 問 25（1）で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかに該当する方がお答えくだ
さい。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、また、家を出る時刻と帰宅する時刻をお答えください。「午後6時」を「18時」のように必ず24時間制でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多い状況についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業前の状況をお答えください。

母親		父親	
1週当たり	() 日	1週当たり	() 日
1日当たり	() 時間	1日当たり	() 時間
家を出る時刻	() 時	家を出る時刻	() 時
帰宅する時刻	() 時	帰宅する時刻	() 時

(3) 問 25（1）で「3」または「4」に該当する方がお答えください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる記号をそれぞれ 1 つ選択してください。

【母親】【父親】それぞれについて回答をお願いします。

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）へ転換希望があり、実現できる見込みがある
イ. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）へ転換希望はあるが、実現できる見込みはない
ウ. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
エ. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

- (4) 問 25 (1) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に該当する方がお答えください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる記号それぞれ1つ選択してください。

母親	父親
ア. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)	ア. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)
イ. 1年より先、宛名のお子さんが () 歳になったところに就労したい	イ. 1年より先、宛名のお子さんが () 歳になったところに就労したい
ウ. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	ウ. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

- (5) (4) で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方がお答えください。希望する就労形態について、選択してください。

母親	父親
ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パート、アルバイト等(「ア」以外) 1週当たり()日 1日当たり()時間	イ. パート、アルバイト等(「ア」以外) 1週当たり()日 1日当たり()時間

○育児休業についてうかがいます。

- 問 26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号を1つチェックしてください。選択肢「2」、「3」にチェックした方は、「取得期間」または「取得予定期間」を記入してください。

母親	父親
1. 働いていなかった ⇒ 問30へお進みください。	1. 働いていなかった ⇒ 問30へお進みください。
2. 取得した →取得期間 ()年()か月 ⇒ 問27へお進みください。	2. 取得した →取得期間 ()年()か月 ⇒ 問27へお進みください。
3. 取得中である →取得予定期間()年()か月 ⇒ 問30へお進みください。	3. 取得中である →取得予定期間()年()か月 ⇒ 問30へお進みください。
4. 取得していない ⇒ 問29へお進みください。	4. 取得していない ⇒ 問29へお進みください。

- 問 27 問 26 で「2. 取得した」を選んだ方がお答えください。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号を選んでください。

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 育児休業中に離職した ⇒ 問30へお進みください。	2. 育児休業中に離職した ⇒ 問30へお進みください。

問 28 問 27 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方がお答えください。

(1) 育児休業から「実際」に職場復帰した時期は希望どおりでしたか。当てはまる番号を選んでください。

母親	父親
1. 希望通りだった	1. 希望通りだった
2. 実際の職場復帰時期が希望時期よりも遅かった	2. 実際の職場復帰時期が希望時期よりも遅かった
3. 実際の職場復帰時期が希望時期よりも早かった	3. 実際の職場復帰時期が希望時期よりも早かった

(2) (1) で「3. 実際の職場復帰時期が希望時期よりも早かった方」を選択した方は、当てはまる理由の番号をすべて選んでください。

母親	父親
ア. 配偶者や家族の希望があった	ア. 配偶者や家族の希望があった
イ. 経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった	イ. 経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった
ウ. 人事異動や業務状況に合わせた	ウ. 人事異動や業務状況に合わせた
エ. 子どもをみてくれる人がいた	エ. 子どもをみてくれる人がいた
オ. 保育所等の入所に合わせた	オ. 保育所等の入所に合わせた
カ. その他 ()	カ. その他 ()

問 29 問 26 「4. 取得していない」を選んだ方がお答えください。

取得していない理由に当てはまる記号をすべてチェックしてください。

【母親】【父親】それぞれについて回答をお願いします。

ア. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった
イ. 配偶者が育児休業制度を利用した
ウ. 収入減となり、経済的に苦しくなる
エ. 仕事が忙しかった
オ. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
カ. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
キ. 昇給・昇格等に影響がありそうだった
ク. その他

